

## <参 考>

### 次郎柿について

#### 1 「次郎柿」の栽培面積は本県、豊橋市ともに日本一！

次郎柿の栽培面積は、県、豊橋市それぞれ全国第1位です。

なお、全国の品種別では富有柿が栽培面積第1位で、次郎柿は第4位です。

#### 次郎柿の栽培面積（平成23年産）

順位	県名	栽培面積 (ha)	シェア (%)	備考
1	愛知県	346	36.0	県内順位
2	三重県	178	18.5	1位 豊橋市 236ha
3	静岡県	134	13.9	2位 新城市 25ha
	全 国	962	—	3位 犬山市 16ha

（出典：特産果樹生産動態等調査。県内順位は愛知県調べ）

#### 2 次郎柿の特徴

四角い形が特徴の次郎柿は、平均果重が約280gで、しっかりとした歯ごたえがある完全甘柿です。収穫期は10月中旬から11月中旬で、完全甘柿のうち全国で最も栽培面積の多い富有柿（収穫期：11月中旬から12月上旬）に比べ、早く収穫できます。

#### 3 豊橋市の次郎柿栽培

##### （1）栽培の歴史

豊橋市の次郎柿栽培は、大正元年（1912年）に、石巻村（現石巻小野田町）の農家が苗木を植えたことに始まります。

その後、豊橋市の気象や立地条件が柿栽培に適していたことに加え、生産者のたゆまぬ努力により、北部地域を中心に栽培面積が拡大し、現在の日本一の産地を形成するに至りました。当時植えられた木は今も同町内に残り、大切に管理されています。

##### （2）100周年記念事業

平成26年は、大正3年（1914年）に初めて実が成ってから100年を迎えます。これを記念して様々なイベントが開催されています。

月 日	主 な 行 事	内 容
4月8日	記念式典	100周年記念式典、記念植樹
5月3日	新緑ウォーキング	消費者を対象にしたかき園地巡り
10月中旬	写真コンテスト	次郎柿を題材とした写真のコンテスト
11月29日	生産者大会	記念講演会等
5月～12月	復興お絵柿プロジェクト	豊橋市の子どもが応援メッセージや絵を描いた果実袋に次郎柿を包んで、東日本大震災で被災した宮城県石巻市へ贈呈する取組